



子ども会新聞

題字 山中 睦夫 氏

No.192号

新春
年4回発行

郷土愛は子ども会から

特定非営利活動法人 東京都子ども会連合会 理事長 齋藤 武
〒112-0012 東京都文京区大塚 6-1-14
電話 03 (3946) 2340 Fax 03 (3946) 2341
HP: <http://www.kodomo-kai.jp/Tokyo/>

第5回理事会の開催時に合わせ、標記

平成27年度
安全普及啓発活動講演会
全子連ビル会議室



第5回理事会の討議の様様 (都子連事務所にて)

▽第5回理事会 (1月17日)
穏やかな三が日に恵まれ、新たに平成28年が始まりました。▼年明け早々、17日には、市区町の役員の方々に呼びかけて▼先ずは①正副理事長会を開き、続いて▼②第5回理事会を開催しました。その後、会場を全子連会議室に移し、③安全推進研修会を進行させ、その余勢を駆って、▼④新年懇親会を開くという荒業を成し遂げました。▼疲れた中でしたが、ジュニア・リーダー大会・松原山荘・家賃減額交渉等の重要課題に対して活発な討議が行われました。

①・②の議事録は4ページ参照)

子ども達を取り巻くスマホをはじめとする電子機器は、現代社会において止まることなく普及し、使い様によっては、



データーを確認する平川先生



安全普及啓発の説明をする阿部安全部長と平川先生

の講演会を開催しました。
日時・1月17日、15時30分より。
会場・全子連ビル会議室
テーマ・「ネット等の性被害 (児童ポルノ根絶等の啓発講演)」
講師・東京都青少年・治安対策本部委託講師・平川先生
参加者・17人。



新年会には17人が出席しました (挨拶する齋藤理事長)

▽新年懇親会 (1月17日)
安全推進研修会の後、恒例の新年会 (懇親会) を開催しました。▼新年会の会場は、ここところ定番となった、都子連事務所近くの「三好弥」でした。▼齋藤理事長ほか副理事長4人を含め17人が揃いました。

犯罪に巻き込まれることもあります。今回は、「ネット等の性被害 (児童ポルノ根絶等の啓発講演)」と題して講演会を開催しました。▼スマホどころかゲーム機・音楽機までもがネット裏を動き回るなどという話から始まり、▼闇の中から狙っている犯罪者に付け入る隙を自ら提供している姿が分かりました。▼また、親の思いと子どもの思いが、微妙にすれ違っている現状にも、さもありなんと納得しました。▼子どもと関係する団体では、このような講演会を開催する必要性を特に感じました。

理事会での席で、各市子連の事業報告を行うという宿題を、多少のほろ酔い気分の中でおこないました。▼葛飾区は子ども会経験のない親に対する安全大会対応。▼小金井市は、毎年取り組んでいるミステリートレインの裏話。▼墨田区は、50周年記念事業とバトミントン大会。▼目黒区は、盛り沢山の1年間の行事説明。▼瑞穂町からは、郷土かるたや無農薬芋ほりの招待。▼江東区はサッカーと子ども会のはなし。▼小金井市は、昨今の子どものアレルギー対応の苦労話。▼江戸川区には、未来に羽ばたくJLを励ます会があり、高校生が卒業したら、指導者として頑張ってくれるよう励ます会を開いている。

▽安全共済会説明会（2月15日）

表記の説明会が全子連ビルの2階会議室で開催されました。▼関係市区町子連から大勢の人が集まり、熱心な質疑応答がありました。

前段は、全子連が5月の総会で安全共済掛け金の値上げ案が取りざたされている情報について、全子連事務局長からの報告を受けました。▼掛け金を70円から30円値上げして、100円にし、各県子連等の委託業務費の赤字を埋める内容でした。

続いて、阿部安全部長から平成28年度の共済手続きの説明に移りました。

加入者名簿について、同伴者欄が追加、保護者のどちらか一名を記入する。▼名前等の変更は「変更届」様式で行い、切り貼りは無効。▼名前は低年齢から順次記入し、追加は最後の欄に記入。▼5月20日まで提出。

年間行事計画書について、▼事業が確定しているものを限定。追加は新様式で提出。▼事故一報報告について、▼必ず市区町子連担当者を通じて、都子連に報告。▼安全担当者名の記入を忘れずに。▼なお、ホッチキス止め等は厳禁です。

質疑応答について、▼4歳児以外に年齢を入れたら書き直しますか。▼園児に年齢を入れたらだめですか。▼年度途中での加入、事故報告の年齢も前年度年齢ですか。▼説明資料に、ページの書き込みが無いこと。また、名前は保険証の通り、年齢は前年度という基本的なことは、この説明書に書くべきでしょう！との不満が飛びました。▼本日の内容を都子連のHPに載せることで、説明会は終わりました。



平成28年度の安全共済会申込様式の説明会風景

▽『スマイルクラブ』おもちゃつき

東京都港区子ども会

12月20日の日曜日、雲ひとつない青空の下で、港区子ども会『スマイルクラブ』の年末行事「もちつき大会」が行われました。

た。▼前日に洗米して水に浸しておいたもち米を水切りし、蒸し器で約20分間蒸し上げ、子ども達と保護者が協力してもちをつきました。▼保育児や幼稚園児には杵が重いため、代わりに木工用の木槌を準備しておいたところ、2歳児が一人で餅つき体験ができました、と保護者から喜びと感謝の言葉がありました。



子ども達も餅つきに挑戦

ことしも15kgのもち米を用意しましたが、食欲旺盛な子供たちでは、作るそばから無くなり、食べる分は勿論、持ち帰りの分に不足を生じる心配がありました。▼そこに救世主（？）が登場、会場に隣接する中華料理店『富麗華』から、特製の肉団子と炒飯がそれぞれ大盛りに入れた、直径60cmを超える大皿二枚の差し入れが届き、参加者は皆、ビックリポン！ありがたく舌鼓を打って頂きました。▼普段、政界、財界、芸能界、スポーツ界などのVIP客が訪れる超有名な料理店からの差し入れに、参加者の驚きは大変なものでした。

この行事には子どもたちを初め、多くの保護者が参加してくれませんが、今年から0歳児〜2歳児にも安全共済会加入の道が開かれましたので、終了間際にそ

の趣旨説明を行ったところ、あらたに5名の保護者から加入の申し込みがありました。▼このような機会を捉え、今後安全共済会加入へ勧誘を進めていきたいと考えています。

会長 矢ヶ崎忠弘

▽墨田区学校支援ネットワーク事業

1月25日、表記の講演会に出席しましたので報告します。この事業の目的は、
①学校・家庭・地域ぐるみで子育てを行う体制を整備する。
②学校の教育活動に地域の教育力を導入することで、学校教育を支援する。
③子ども達が地域の方々から多様な知識や知恵、技能などを学び「生きる力」を育む。

④地域の方々の活動の成果を生かす場を広げ、地域の教育力直向上と地域の活性化を図る。
⑤教員が子どもたち一人一人に対して、きめ細かな指導を行うための時間の拡充を図る。

この日、事業を報告するフォーラムが開かれ、すみだリバーサイドホールに大勢の関係者が集まり、其々の発表がなされました。講演の趣旨は、「学校のみでは対応が無理なもの」「地域力や幅のある対応が必要」等を、いわゆる『出前授業』を実施しています。その実績は「ニュース発行数16」、「実施学校数延べ299校」、「協力団体299団体」、「派遣講師数1,087名」、「児童生徒数21,452名」

（取材 広報部佐藤）